



～ 感謝の心を礎に かけがえのない街と 輝く未来へ ～

2025 年 9 月 26 日

網走信用金庫 100 周年記念事業 SOMPO 美術館「東郷青児×ジョルジュ・ルオー」展の開催について

網走信用金庫（理事長 伴道弘）は創立 100 周年を記念して標記の美術展を網走市立美術館様ご協力のもと、9 月 26 日（金）より開催しましたのでお知らせします。

美術展では、東京の SOMPO 美術館で展示されている東郷青児の作品とジョルジュ・ルオーの版画を展示しております。開催初日は、オープニング・セレモニーが行われ、中島啓子 SOMPO 美術館上席学芸員の解説でギャラリーツアーを開催致しました。参加された市内中学生をはじめ、多くの市民の皆さまには、一流の芸術に触れる有意義な時間をお楽しみいただきました。

当金庫は、今後も地域社会の皆さまに感謝を込めて「創立 100 周年記念事業」を積極的に展開し、地域の繁栄に貢献して参りますので、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

1. 網走信用金庫 100 周年記念事業 SOMPO 美術館「東郷青児×ジョルジュ・ルオー」展



- 主催：網走市立美術館 特別協賛：網走信用金庫 協賛：損保ジャパン
後援：網走市 網走市教育委員会 網走市文化連盟 協力：SOMPO 美術館
- 会場：網走市立美術館 ※観覧料無料 ※AM10：00—PM4：00
- 開催期間：2025 年 9 月 26 日（金）— 2025 年 11 月 9 日（日）
※会期中休館日 9/29 10/6 10/14 10/20 10/27 11/4

以上



東郷青児(望郷) 1959年 SOMPO美術館蔵



ジョルジュ・ルオー「悪の華」のために版刻された14図<I>悪魔 1926年 SOMPO美術館蔵

SOMPO美術館

東郷青児 × ジョルジュ・ルオー

2025 9・26(金) - 11・9(日)

観覧料 無料 AM10:00 - PM4:00

会期中休館日 9/29 10/6 10/14 10/20 10/27 11/4

主催 網走市立美術館 特別協賛 網走信用金庫 協賛 損保ジャパン
後援 網走市 網走市教育委員会 網走市文化連盟 協力 SOMPO美術館

オホーツクの美術館

網走市立美術館

北海道網走市南6条西1丁目
Tel 0152-44-5045





SOMPO美術館

SOMPO美術館へのアクセス

J R新宿駅西口から徒歩5分
 東京メトロ新宿駅から徒歩5分
 東京メトロ西新宿駅C13出口から徒歩6分

写真 左外観 右展示室

1976年、西新宿の損保ジャパン本社ビル42階に開設された「東郷青児美術館」は、現在、公益財団法人SOMPO美術財団が運営し、各種展覧会の開催に加え新進作家の支援、「対話による美術鑑賞教育」の普及支援などを行っています。

1987年にはポスト印象派の巨匠ゴッホの《ひまわり》が常設展示のコレクションに加わり、以降、アジアで唯一、ゴッホの《ひまわり》を鑑賞できる美術館として、親しまれています。

2020年7月、損保ジャパン本社ビル敷地内の新たな美術館棟へ移転し、「SOMPO美術館」としてオープンしました。新宿のアートランドマークとして、今後も多様な芸術・文化を発信し、地域の賑わい創造に貢献していきます。(SOMPO美術館HPより)



東郷青児 (1897-1978)

東郷青児は、鹿児島生まれ、東京を拠点に二科会で活動した洋画家です。19歳で描いた《パラソルさせる女》(1916年)は、初出品にして二科賞を受賞し、日本美術界で最初期の前衛絵画とみなされています。24歳から7年にわたるフランス滞在では、ピカソから独自のスタイルを貫く姿勢を学び、西洋絵画の伝統技法を研究するほか、仕事を通じて装飾やデザインも習得しました。帰国後はモダンな女性の新しい理想像を生み出し、壁画や挿絵などに多彩な仕事を残しています。

SOMPO美術館は、1978年に東郷青児の逝去に伴い、遺族から東郷の作品約150点の寄贈を受け、現在では、初期から晩年までの油絵約70点を含む作品約240点と資料群を収蔵しています。



ジョルジュ・ルオー (1871-1958)

パリに家具職人を父に生まれ、1885年にステンドグラス職人に弟子入りします。後年のルオーの太くて黒い輪郭線にはステンドグラスの影響が見られます。1890年に国立美術学校に入学し、ギュスターヴ・モローに師事します。1903年、ギュスターヴ・モロー美術館が開館し、モローの遺言により館長に就任します。マティス、マルケと共にサロン・ドートンヌを創設。キリストや裁判官、娼婦、道化師、曲芸師、労働者など、苦難を帯びた人々、社会の底辺で喘ぐ人々を描きました。1908年に画家アンリ・ルシダネルの妹マルトと結婚し、一男三女をもうけます。1917年画商ヴォーラルと専属契約を結び、ルオー発案による《ミセレーレ》、《悪の華》などの版画集を制作。未完成作品に関する所有権をめぐる画商と訴訟となり、勝訴後315点を焼却します。1953年に東京と大阪で回顧展が開催され、ローマ法皇よりグレゴリオ大勲章受章。1958年パリで没、サン・ジェルマン・デ・プレ教会で国葬されました。

*写真・作家資料はSOMPO美術館より提供



網走市立美術館 アクセス

女満別空港より網走行きバス乗車、網走バスターミナルより徒歩5分。J R網走駅より徒歩15分。

当館には一般駐車場はございませんので、隣接の網走市民会館駐車場をご利用ください。当館受付で駐車券に証明印を押しますと駐車料金が半額になります。身障者用駐車場は当館入口左横にあります(1台分)。